

# 外国語教育メディア学会（LET） 2017 年度 第 90 回秋季中部支部研究大会 プログラム

日時：2018 年 1 月 20 日（土）9:30-17:00

場所：岐阜市立女子短期大学

〒501-0192 岐阜市一日市場北町 7 番 1 号

Tel: : (058)296-3131

研究大会実行委員長：小島ますみ（岐阜市立女子短期大学）

主催：外国語教育メディア学会（LET）中部支部

後援：岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会



問い合わせ先

メール：支部サイト

<https://www.letchubu.net> の「お問い合わせ」  
外国語教育メディア学会（LET）中部支部事務局

Twitter: @LETChubu

## 日程

9:30 受付 【5階 ホール】

9:30 展示 【5階 ホール】

10:00－10:10 **開会式** 【5階 1-501】

司会：小島ますみ（岐阜市立女子短期大学）

主催者挨拶：高橋美由紀（中部支部支部長）

開催校挨拶：杉山 寛行（岐阜市立女子短期大学学長）

10:20－12:00 【5階 1-501】

### ワークショップ

「大学入試改革—英語外部試験の導入について」

講師：(株) ベネッセコーポレーション  
公益財団法人 日本英語検定協会

司会：柳 善和（名古屋学院大学）

(1) 「GTEC について」(株) ベネッセコーポレーション

(2) 「英検について」公益財団法人 日本英語検定協会

(3) 「TEAP について」公益財団法人 日本英語検定協会

2020 年度より大学入学共通テストが導入され、英語については「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」の4技能を評価する方針が打ち出されている。4技能評価には、外部検定試験の活用が検討されている。本ワークショップでは、(株) ベネッセコーポレーションと公益財団法人 日本英語検定協会より講師を招き、英語4技能評価に実績のあるGTEC、英検、TEAP について解説いただく。これらの検定試験はそれぞれどのような試験なのか、試験の特徴、実施方法（会場、時間、受験料）、配点、採点、結果の表示方法等についてお話しいただく。4技能のうち特にスピーキング、ライティングについて、実施方法や試験の特徴について詳解いただく予定である。本ワークショップにより今後の大学入試の動向を掴むとともに、授業実践や指導方法について示唆を得ることを目的とする。

12:00－13:30 **昼食**

展示等ゆっくりご覧下さい。

【5階ホール】

12:05－12:45 **賛助会員ランcheonプレゼンテーション** 【5階 1-501】

12:05－12:15 国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部

「TOEFL iBT テスト対策のためのオンライン教材のご提案(仮)」

12:20－12:30 株式会社アルク 「ALC NetAcademy NEXT 事例紹介」

12:35－12:45 リアリーイングリッシュ株式会社

「新コース：IELTS コーチのご紹介(仮)」

13:30-15:10 **研究発表・実践報告**

(1)13:30-14:00 (2)14:05-14:35 (3)14:40-15:10

**<第1室> 【5階 1-501】** 司会：Douglas S. Jarrell（名古屋女子大学）

(1) 語彙リスト配布の有無がフラッシュカードアプリによる英単語学習の成果に及ぼす影響 **【研究発表】**

天野 修一（静岡大学）

(2) Quizlet を活用した英文読解教材の開発 **【実践報告】**

加藤 由崇・和田 珠実・大門 正幸（中部大学）

(3) 音声合成・音声認識の利用効果を検証するためのスマホアプリ開発 **【実践報告】**

古泉 隆（名古屋大学）

**<第2室> 【5階 1-408】** 司会：福田 純也（静岡大学）

(1) 中国話話者の付帯状況を表すテ形の使用実態 **【研究発表】**

村松由起子（豊橋技術科学大学）

(2) 日本人高校生の英語受動態文のエラー分析 **【研究発表】**

岡田美穂子（名古屋大学大学院生）

村尾 玲美（名古屋大学）

(3) タスク達成度に焦点をあてた絵描写タスクのスピーキング評価の試み **【研究発表】**

江口 朗子（愛知工科大学）

田村 祐（名古屋大学大学院生）

15:15-16:45 **シンポジウム** **【5階 1-501】**

**「タスクベースの英語指導について」**

コーディネーター：天野 修一（静岡大学）

パネリスト

(1) 浦野研（北海学園大学）

「ニーズに沿ったシラバスデザインと授業実践：経営学部で学ぶ学生を対象にした事例」

(2) 橋本康秀（岐阜県立長良高校）

「教科書の内容に重点をおいたグループディスカッションの授業実践：「書いてから話す」からの脱却」

(3) 籠橋亮介（多治見市立笠原小学校）

「笠原型コンテンツ・ベイストとは」

18:00-19:30 **懇親会** ビストロ×じゃぱにーず Jairo

岐阜県岐阜市住ノ江町1-13（名鉄岐阜駅 徒歩1分）

司会：川口勇作（愛知学院大学）

開催校挨拶：小島ますみ（岐阜市立女子短期大学）

## 発表概要

### <第1室> 【5階 1-501 教室】

発表1 語彙リスト配布の有無がフラッシュカードアプリによる英単語学習の成果に及ぼす影響 【研究発表】

天野 修一 (静岡大学)

本研究の目的は語彙リスト配布の有無が、授業外でのフラッシュカードアプリを用いた単語学習の成果に影響を与えるかどうかを検証することである。授業外での単語学習を課すとき、ウェブ教材に加えて紙のリストの配布を求める学習者の意見に接することがある。もしそのことがウェブ学習の成果に悪影響を及ぼすならば、配布すべきではないかもしれない。しかし、リスト学習が必ずしも非効率とは限らない。そこで、次の3条件で英単語学習を行った大学生の学習成果を比較した、1) フラッシュカードアプリでの学習のみ、2) 紙のリスト学習のみ、3) 両方で学習可能。その結果、リスト配布はフラッシュカードアプリでの単語学習の成果にほとんど影響しないことがわかった。また質問紙調査から、大多数の学習者がフラッシュカードアプリでの単語学習を支持しリストは不要と感じているが、やはりリストを好む学習者も一定数いることがわかった。したがって、リスト配布を求める意見には、リストを任意でダウンロードできるウェブサイトなどを準備して対応するのがよいと考える。

発表2 Quizlet を活用した英文読解教材の開発

【実践報告】

加藤 由崇・和田 珠実・大門 正幸 (中部大学)

本発表は、日本人英語学習者の英文読解を支援するオンライン学習教材の開発と効果検証の結果について報告する。英文読解の授業において、教師は時に、学習者のボトムアップ的な英文理解を確認する必要性に迫られることがある。しかし、実際に授業内で理解の確認を行う際、その作業はしばしば訳読法による単調な過程になりがちで、多くの授業時間がこの作業に費やされてしまう。この問題の解決に向けて、オンライン学習ツール Quizlet を援用した個別学習教材の開発とその活用法を提案する。これまで Quizlet は単語学習ツールとして広く利用されてきたが、単語ではなく意味のまとまりごとに日英の対訳を付けることで、学習者のボトムアップ的な英文理解を保証する教材が作成できる。具体的な教材の開発経緯に加えて、実際に大学の授業に教材を導入した際の質問紙調査 (有効回答数 156) に基づく効果検証、ならびに著作権等を含めた実際の運用上の留意点について議論する。

発表3 音声合成・音声認識の利用効果を検証するためのスマホアプリ開発

古泉 隆 (名古屋大学) 【実践報告】

発表者は、2017 年度春季の本研究大会において、日本人大学生による英文音読に対するスマホの音声認識精度を調査し音声認識機能の英語学習への利用可能性を示唆した。本発表では、その結果を踏まえ、音声技術が英語学習に実際にどのように利用でき、どの程度効果的なのか検証を進めるために開発したスマホアプリを報告する。アプリでは、一定量のコンテンツをシャドーイング練習するが、比較検証が可能なように2つの練習モードを用意している。1つは、従来モード (母語話者音声聞いてのシャドーイング、録音による自己チェック等) で、もう一つは音声合成・音声認識利用モード (音声合成の音声を聞いてのシャドーイング、音声認識機能による自動評価・フィードバック等) である。モードは学習者 (ログインユーザー) ごとに、どちらか一方を指定できる。また、シャドーイングの録音データや学習ログデータはサーバーに保存され、後の分析が可能である。発表では、本アプリの特徴を紹介するとともに、アプリを用いた調査計画についても報告する。

### <第2室> 【5階 1-408 教室】

発表1 中国語話者の付帯状況を表すテ形の使用実態

【研究発表】

村松由起子 (豊橋技術科学大学)

本発表では中国語を母語とする日本語学習者の付帯状況を表すテ形の使用実態について、学習者作文コーパスを用いて観察した結果を報告する。日本語のテ形には付帯状況、継起、因果、並列の4つの用法があるが、このうちの付帯状況について、中国語話者の使用実態を分析した。まず、日本語と中国語の対照研究を行い、日本語の付帯状況のテ形と中国語の付帯状況の「着」に使用上のずれがあることを確認した上で、学習者の誤用を観察した。観察には台湾の東呉大学が作成したコーパス「LARP at SCU 第2版」

を用い、37名の学習者が33のテーマについて書いた作文を使用した。観察は一文ずつ確認する方法により行った。その結果、テ形使用の中に、本来「ながら」を使用すべきであるのに付帯状況のテ形を使用しているテ形の過剰使用が観察され、テ形と「着」のずれによる誤用も確認された。

発表2 日本人高校生の英語受動態文のエラー分析 【研究発表】

岡田美穂子 (名古屋大学大学院生)・村尾 玲美 (名古屋大学)  
母語と大きな違いのある英語の受動態は、日本人学習者にとって習得が難しいとされる。日本人学習者コーパスを分析した Oshita (2000)と Owada (2013)は、自動詞用法のみを持つ非対格動詞の過度受動化を報告している。一方、文法性判断テストを行った Oshita (2002)と Kondo (2013)は、非能格動詞に比べ、自他両用の非対格動詞において過度受動化の誤りが多いとの結果を得ている。これらの先行研究は留学経験のある熟達度の高い学習者を対象としているため、本研究では一般的な日本の高校生が産出した英文をコーパス化して分析することにより、高校生による受動態表現の習得状況を誤りの観点から考察する。データは約 200 人の高校生が書いた 5 回分の英作文で、総語数は約 6 万語である。自他両用と自動詞のみの非対格動詞、非能格動詞、他動詞の 4 種類 37 個の動詞を抽出し、過度受動化の誤りを調べた結果、非能格動詞の受動態において先行研究での結果よりも高い誤用率となった。

発表3 タスク達成度に焦点をあてた絵描写タスクのスピーキング評価の試み

江口 朗子 (愛知工科大学)・田村 祐 (名古屋大学大学院生) 【研究発表】  
発表者らはこれまで、外国語学習におけるタスク・ベースの活動による言語発達の側面として、流暢さ(単位時間あたりの発話量)の推移を観察してきた。しかし、発話語数が多いことは必ずしもタスクが達成されたことと等しいとは限らず、両者の関連性を明らかにする必要がある。本研究では、「絵描写タスク」を用いて「絵に含まれている重要な情報を目標言語で伝えることができている」ことをタスクの達成とみなしてスピーキング評価を試みた。英語初級レベルの大学生 58 名に 2 種類の絵描写タスクを実施した。絵描写に必要な情報項目リストと 3 段階評価のルーブリックを作成し、それらに基づき英語教員ら 4 名がタスクの達成度を評価した。結果として、タスクの達成度は流暢さと強い相関があったが、発話語数が少なくてもタスクは達成されている例やその逆の例もあった。発表では、評価の基準や手順、結果に基づいた教育的示唆、及び今後の課題について報告する。

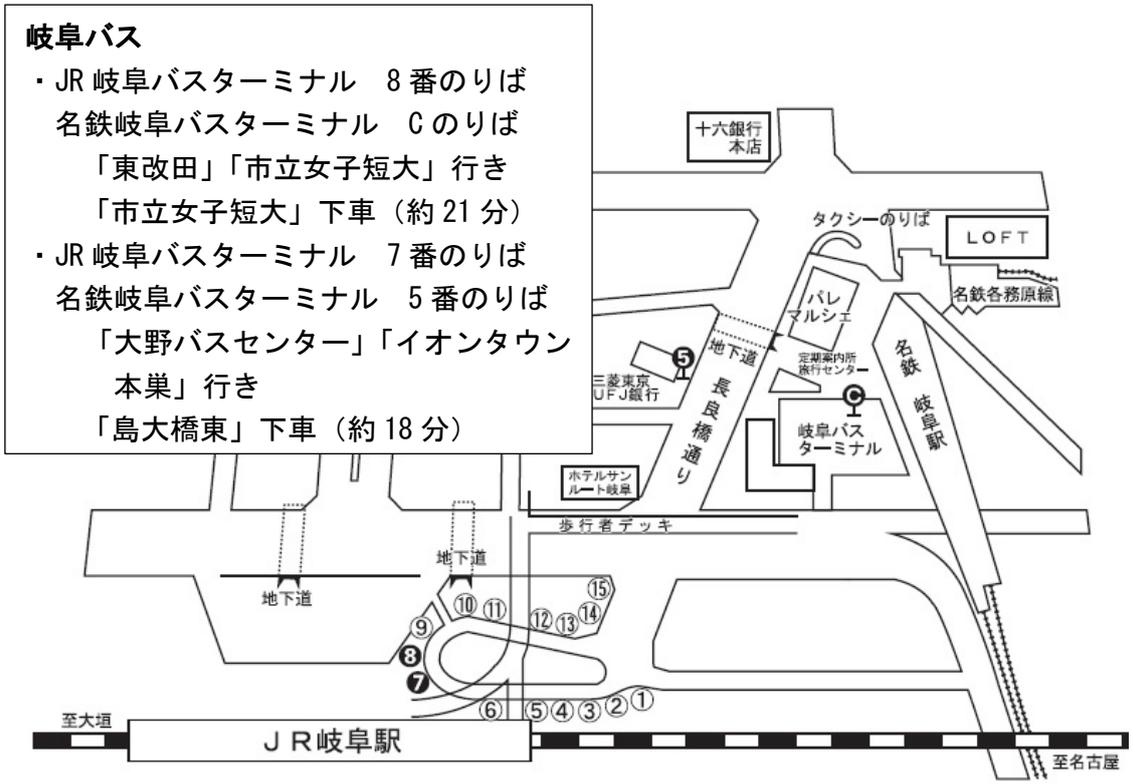
### 賛助会員展示

株式会社エル・インターフェース	<a href="http://www.supereigo.com">http://www.supereigo.com</a>
株式会社桐原書店	<a href="http://www.kirihara.co.jp/">http://www.kirihara.co.jp/</a>
チエル株式会社	<a href="http://www.chieru.co.jp/">http://www.chieru.co.jp/</a>
国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部	<a href="https://www.cieej.or.jp/">https://www.cieej.or.jp/</a>
株式会社アルク	<a href="https://www.alc-education.co.jp/">https://www.alc-education.co.jp/</a>
リアリーイングリッシュ株式会社	<a href="http://www.reallyenglish.co.jp/">http://www.reallyenglish.co.jp/</a>

### 昼食

当日、学内の食堂・売店は休業日です。また近隣もお店が少ないため、予め昼食をご用意ください。(飲料の自動販売機は、生協前にあります。)

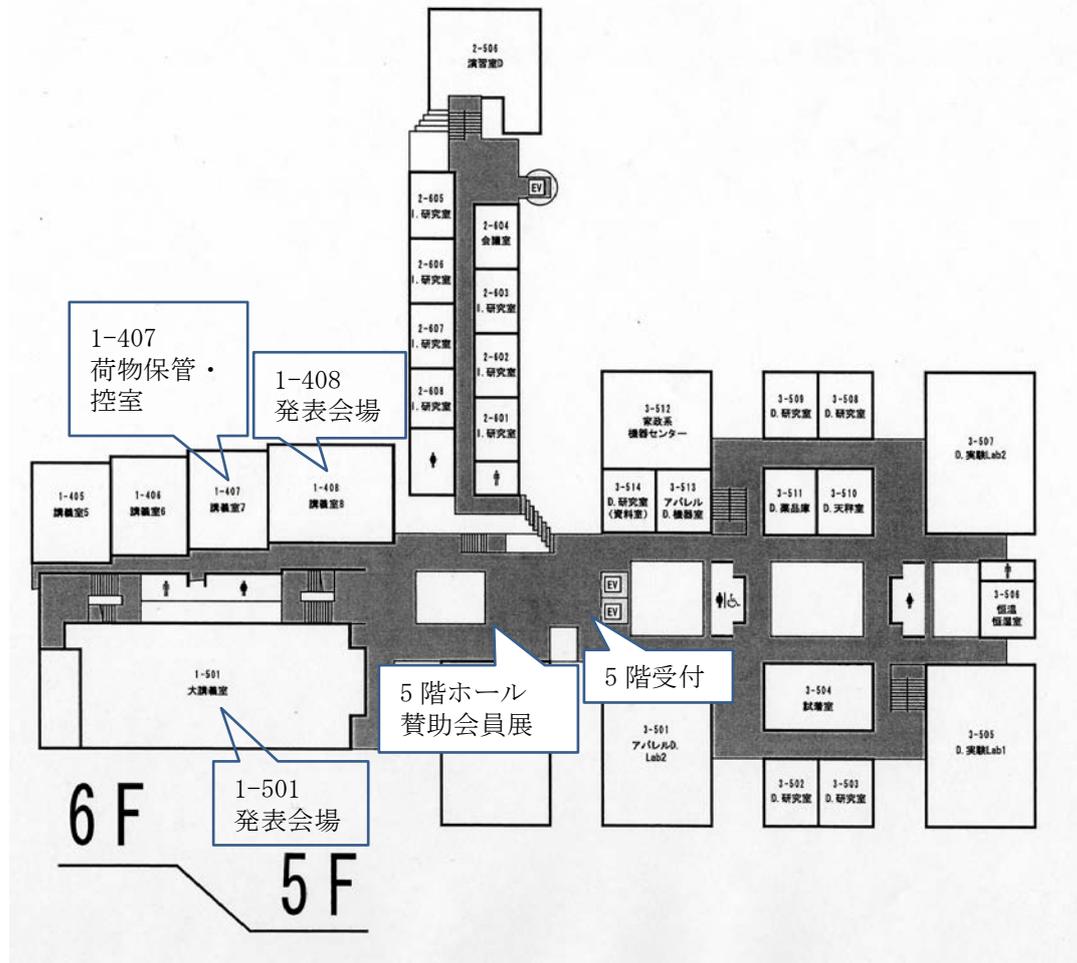




タクシー会社の電話番号 (JR 岐阜駅から片道 2,200 円ほどかかります)

- ・ 日本タクシー 058-246-1212
- ・ 日の丸タクシー 058-240-1111

### 会場地図



## 大会参加のご案内

- 会員の方の参加は無料です（ご参加までに、年会費をご納入ください）。
- 非会員の方は当日会員参加費 1,000 円を受付にてお払いください。

LET 中部支部サイト：<https://www.letchubu.net>

本大会サイト：<http://bit.ly/LETC2017Fall>

## 新規ご入会案内

LET 会員として入会手続きをしていただきますと、当日会員参加費金額が、年会費から割引されます。会員になられますと、LET 全国研究大会、支部研究大会（年 2 回）での研究発表、実践報告、紀要への投稿などをして頂くことができます。

- ・ 当日会員参加費として 1,000 円をお支払い下さい。
- ・ LET 本部サイトにて入会登録をしてください（仮会員）。
- ・ 仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます（お支払いいただいた当日会費参加費 1,000 円を割引きます）。
- ・ 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります。（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします。）

**会員登録、会員情報の更新はこちらから**

**LET 本部サイト：<https://www.j-let.org/>**